

お母さんから出た こんな質問

Q 9歳の長男のことで質問させていただきます。息子は3歳ぐらいから、

いつも鼻水が出ていて、ズルズルズルズルすすっているような状態でした。まわりのお子さんの中にも同じような子がいましたので、当初気にしてはいなかったのですが、さすがに小学校にあがってからは、本人もまわりの目を気にするようになり、「鼻が気になる」と訴えてきました。そこで、近所の耳鼻科を受診したところ、アレルギー性鼻炎とのことで鼻を洗浄してくれましたが、とくに薬などが処方されたわけではなく、ハウスダストやほこりっぽい場所にいかないなど、気を付けるようにという指示でした。体が多少大きくなってからは、それほどひどい状態ではないのですが、なぜか11月、12月になると鼻水がひどくなります。アレルギー性鼻炎は花粉症と関連がありますか？ 抜本的な治療法など考えられるものはありますか？

A アレルギー性鼻炎には年間を通して症状の続く通年性アレルギー性鼻炎と



花粉による季節性アレルギー性鼻炎とがあります。通年性アレルギー性鼻炎の原因は、室内のほこり（ハウスダスト）やダニ、ペットの毛やカビなどがあります。季節性アレルギー性鼻炎は花粉症ともいわれ、代表的なものとしては春のスギ、ヒノキ、初夏のカモガヤなどのイネ科の植物、秋のブタクサなどがあります。通年性と季節性の両方のアレルギー性鼻炎を合併している人も多く、冬になると乾燥と寒冷による刺激や風邪なども一緒になって、鼻の症状がより悪化します。

アレルギーの原因抗原（アレルゲン）は血液検査で調べることができます。アレルゲンに接しなければ症状は出ませんから、治療の根本は原因物質を避けることです。しかし、室内外を常に完全にクリーンな環境に維持することは不可能と言ってもよいでしょう。

アレルギー性鼻炎の三大症状は鼻

水、くしゃみ、鼻づまりです。それらの症状を改善させるための標準的な治療法が「鼻アレルギー診療ガイドライン」に記載されています。もっとも一般的な治療法は、抗ヒスタミン薬や抗アレルギー薬の内服と、ステロイドの点鼻療法です。効果がない場合にはレーザー治療などの手術的治療法も併用することがあります。

原因アレルゲンエキスを皮下注射して体を慣らしていくという減感作療法がアレルギー性鼻炎を「治せる」可能性のある治療法です。この治療法は2〜3年以上かけて行うもので、すぐに効果が出るわけではありませんが、時間がかかっても根治させたいという場合に試みてもいいでしょう。また、注射ではない舌下免疫療法も臨床応用に向けて準備が進んでいます。（笠井耳鼻咽喉科クリニック・自由が丘診療室/笠井 創）

Q 4歳の子どもですが、先日寝ていたらものすごく臭くて、よくよく臭いのもとをたどってみたら耳だれがひどく綿棒でとってもとっても出てくる有様でした。結局中耳炎だったのですが、実は2か月前にも中耳炎になったばかりです。こんなに早く再度中耳炎になってしまうものなのでしょうか？

A 黄色い鼻汁が出ていて、咽が痛くて咳も出るとい

●

急性中耳炎は初期に適切な治療を受けることが大切です。痛みはなくなっている、中耳に分泌物が残った状態の滲出性中耳炎に移行することもあります。滲出性中耳炎で何ヵ月も治らなかったり、難聴がひどい

中耳炎の予防には風邪を引かないようにすることが一番ですが、とくに集団生活をしている小児では簡単なことではありません。一般的な風邪の原因は何種類かのウイルスが原因です。空気感染でも起こりますが、手から鼻への接触感染がほとん

